

学校と地域をむすぶ

大津市立葛川小・中学校

かけはし

地域コーディネーターだより

2015. 10. 23

NO. 4

紅葉祭

10月3日に葛川小中学校において「紅葉祭」が行われました。早朝より地域の皆様方におこしいただき、発表を見ていただいたり、いっしょに楽しんでいただいたりすることができました。

今年の「紅葉祭」のテーマは「今を楽しむテンションMAX☆彡」。一学期から中学校生徒会と小学校児童会のメンバーで話し合いを持ち決定されました。小中学生や来ていただいた皆様方がいっしょに楽しむことができるようにという思いから考え出されたテーマです。このテーマに向けて、生徒会・児童会を中心に内容を考えたり、準備を進めたりしてきました。そして迎えた当日。午前中は体育館での「ステージ発表」。午後は「ふれあい」という二部構成。

小学生の発表は・・・

「ピーター 新喜劇」。
おなじみの「ピーターパン」のストーリーをもとにしたミュージカル。
しかし、ただ歌って踊ってとはちがい、



合間のせりふは葛川バージョンです。夏休みに5・6年生がせりふを考えて台本を完成させました。新喜劇を頭に思い浮かべた関西弁のせりふです。たくさんの歌は一学期から練習をしてきました。

そして、配役はみんなで相談して決めました。自分のやりたい役を押し通す



のではなく、せりふの量や他の役とのバランスを考えながら、子どもたちの中で決まっていきました。何とみんな適役だったでしょう。せりふや振り付けを入れた本格的な練習が始まったのは運動会が終わってから。当日までは2週間。



練習の中で、「ここ大きく言った方がええんちゃう?」「もう少し前に出た方がいいで」など、高学年を中心にアドバイスが出されました。一人ひとりが自分の役を演じるだけでなく、みんなで作りあげた「新喜劇」になりました。もちろん、笑いを取る場所は心得ています。練習の中ではなかなかその笑いが聞けませんでした。当日は「ここ」というところ以上に笑ってもらえたのはよかったです。

中学生の発表は・・・

『テレビのスイッチ 「ポチッ」とな』



寸劇あり、動画ありと盛りだくさんの内容でした。タイトルのように、テレビのスイッチを入れて出てくる画面を、実際に劇や映像で表現してくれました。コマーシャル、刑事ドラマ、お笑い番組など次々と番組が繰り広げられます。大道具や小道具もよく考えられていました。何といても、寸劇のかけあいテンポ良くみんなの笑いを誘いました。

寸劇あり、動画ありと盛りだくさんの内容でした。タイトルのように、テレビのスイッチを入れて出てくる画面を、実際に劇や映像で表現してくれました。コマーシャル、刑事ドラマ、お笑い番組など次々と番組が繰り広げられます。大道具や小道具もよく考えられていました。何といても、寸劇のかけあいテンポ良くみんなの笑いを誘いました。



映像も見ごたえがありましたが、きっとその一場面を撮影するだけでもかなりの準備が必要だったと思います。限られた時間の中で制作、練習など大変だったかと思いますが、中学生全員のチームワークと自分自身がまず楽しもうという思いが超大作を作り上げたのだと思います。

幕間は2グループ参加

1・2年生の「キラキラ星」の演奏。楽器は、水の入ったコップ。水の量によって音の高さが違います。微妙な音のちがいに耳をかたむけました。そして、ハン



ドベルによる演奏。腕を大きく前に振り出し、きれいな音色で奏でることができました。

細川町の今宮高志さんは、ギターによる弾き語り。懐かしい歌を、語りかけるように歌っていただきました。体育館に響く声と



ギターの音色は心をなごませてくれました。



体育館の後ろには、地域の方々、児童・生徒、先生方の作品がたくさん展示されました。絵や立体作品、書写作品、縫い物・編み物、写真、学習のまとめなど、多くの方々に見ていただくことができました。

午後のふれあい

4つのコーナーができました。このコーナーも、生徒会と児童会で一学期から考えられてきたものです。

「おばけ屋敷」

保育園のプレイルームを真っ暗にするのが大変でした。入ってくる人をどうやっておどかすのか、こわがらせるのか工夫しました。何度もチャレンジして楽しんでくれる人、すごくこわがって悲鳴をあげる人、おどかす側も楽しむことができました。足をつかまれ「ギ



ャー！」と叫ぶとオバケの方がこわがっていました。

「もぐらたたき」



段ボールで作った野原の穴からモグラが顔を出します。モグラをたたいた回数で記録を競い合います。モグラは手で穴から顔を出すので、モグラ担当者は腕がパンパンになったのではないのでしょうか？

モグラを思い切りたたきすぎて穴にトンカチがはまってぬけなくなりました。私の場合・・・。（笑）

「スタンプラリー」

クイズに答えながらスタンプを集めてまわるといもの。「タンバリンのある部屋は？」「音楽室！」と音楽室に駆け上っていくと、そこにはスタンプと次のクイズの紙がおいてあるのです。クイズの答えを探しながら、階段を上ったり下りたり。制限時間があるのでみんな必死です。これは個人ではなくグループで参加したので、チームワークも発揮しました。受付まで戻ってきたときにはみんな「ヒーヒー、ハーハー」。



「YOYOだYO」



昔なつかしいヨーヨーつり。お祭りの夜店を思い出します。透明のヨーヨーにはいろいろな色の水が入っていてきれいです。ねらったヨーヨーをひっかけてつり上げます。

ブチッ。もうちょっとというところでコヨリが切れてしまいました。「もう一回やっていたいよ〜」。上手な人はどどんつり上げヨーヨーが束に。つれなくても1個はもらえました。透明のヨーヨーにペンで模様や絵、言葉を書いてオリジナルヨーヨーの完成！



各コーナーには中学生と小学校5・6年生の担当者がスタンバイ。大きな声でお客さんを誘い、カードを手渡してくれる人。遊びを進行したり、お客さんをリードしてくれる人。少ない人数でたくさん楽しませてくれました



あつという間に楽しんだ「ふれあい」も終わり、いよいよエンディングへ。一日いっしょに過ごしたお客さんに、「ステージ発表」や「ふれあい」についてインタビュー。「楽しかった」「上手でした」「おもしろかった」などいろいろな声を聞くことができました。この日のために、中心になって話し合いや

準備をしてきた中学生や5・6年生だけでなく、3～4年生もポスターやスローガンの準備、1～2年生はそうじや作品展示などに力を発揮しました。前日準備や後片付けは手を休めることなく、一人ひとりが自分の役割以上の仕事を見つけてがんばりました。

おだやかな秋の一日は、たくさんの笑顔と笑い声に包まれて過ぎていきました。



見る人、見てもらう人。遊ぶ人、遊びを提供する人。みんなが一つになって「楽しい」感はMAXになりました。いっしょに楽しんでいただいた地域の方々、保護者の方々、ありがとうございました。

大きなおいもがとれたよ

春に寿会の方々が、学校の畑に頑丈なパイプと丈夫な網でどんな動物にも負けない柵を作ってくださいました。そのおかげで、今年は畑が動物に荒らされることなく、作物はすくすくと生長し、ピーマン、プチトマト、枝豆などがたくさん収穫

できました。教えていただいていたいっしょに植えたサツマイモは土の中でどうなっているのか。ドキドキ、ワクワクでした。畑の上におおいかぶさったイモのツルを刈り取って、いよいよ土を掘りおこします。1・2年生6人はそれぞれ寿会の方とペアになっておいもほりが始まりました。おじいちゃん、おばあちゃんも「まわりからそっとほりいやあ」「ちょっと、ここ耕してあげるし」など声かけやお手伝いを



してくださいませ。「あった!」。慎重に土を掘りひっぱり上げると、何と大きなさつまいも。一つではなく、大きなおいもが3~4個いっしょにつながっているものもありました。大きな、まあいい、おいももありました。獣害にあった去年やおと年とは全然違います。みるみるまに

バケツがおいもでいっぱいになり、ずっしり重いバケツを「よいしょ、よいしょ」

と運びました。掘り出したサツマイモはいくつあったでしょう? 何と「125個」もありました。しかも、赤くてまるまるとしたおいしそうなサツマイモです。



11月にはこのおいもで「やきいもパーティー」をします。おじいちゃん、おばあちゃんにもまたお手伝いしてもらい、いっしょに食べてほしいことをお願いしました。寿会のみなさん、丈夫な畑の柵にはじまり、苗植え、いもほり、ありがとうございました。

古紙回収ありがとうございます

葛川の地域の皆様には、年に2回、各町での古紙回収にご協力いただいております。この古紙回収による収益金は、「子どもたちのために使ってください」ということで学校にいただいております、小中学校の子どもたちの学習に役立たせていただいております。長年にわたり全体をお世話いただいている方をはじめ、各町でお世話いただいている方々、そして古紙等を集めて出している方々、本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。